



産業副産物を活用した肥料資材、土壤改良手法の開発

シーズ技術名
チーク技術名

技術分野分類 7101：植物栄養学・土壤学

技術キーワード (5)肥料、(8)土壤化学、(12)土壤肥沃度

産業分類 E 製造業

内 形	概要	農用地における施肥コストの低減を図るために、肥料、土壤改良材に有効な成分を含有する産業副産物の活用を研究。																
	従来技術・競合技術との比較（優位性）	産業副産物を対象として、既存の化学肥料の代替資材の探索、および適切な施用方法の検討を行い、産業副産物の有効活用、および施肥コストの低減を目指している。 これまでに、産業副産物由来の燃焼灰、石膏資材等を対象に、肥料資材としての検討試験を進めてきた。																
	本技術の有用性	<ul style="list-style-type: none"> ・産業副産物の有効活用に伴う廃棄コスト、施肥コストの低減が期待できる。 ・過去の事例では、燃焼灰の添加により化学肥料並の大麦成長効果を確認。 																
関連情報 (図・表・写真等)		<table border="1"> <caption>大麦乾燥重量(g)</caption> <thead> <tr> <th>施肥方法</th> <th>根 収量</th> <th>茎葉 収量</th> <th>穂 収量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>灰添加</td> <td>~1.4</td> <td>~2.2</td> <td>~1.7</td> </tr> <tr> <td>化学肥料</td> <td>~1.4</td> <td>~2.7</td> <td>~2.1</td> </tr> <tr> <td>K 添加なし</td> <td>~0.4</td> <td>~1.3</td> <td>~0.5</td> </tr> </tbody> </table>	施肥方法	根 収量	茎葉 収量	穂 収量	灰添加	~1.4	~2.2	~1.7	化学肥料	~1.4	~2.7	~2.1	K 添加なし	~0.4	~1.3	~0.5
施肥方法	根 収量	茎葉 収量	穂 収量															
灰添加	~1.4	~2.2	~1.7															
化学肥料	~1.4	~2.7	~2.1															
K 添加なし	~0.4	~1.3	~0.5															
適用可能製品		土壤改良資材、肥料																
技術シーズ保有者	氏名 所属・役職	墨 泰孝 応用生物学部 応用生物化学科 助教																
技術シーズ照会先	窓口 TEL/FAX e-mail	中部大学 研究支援部 学術企画課 0568-51-4852 (直通) / 0568-51-4859 sankangaku@office.chubu.ac.jp																

■知的財産

■試作品状況

無

提示可

提供可

作成日 2025年 1月 24日